

R 元年度 参加者の声

医療や介護の仕事には、たくさんの専門職があってみんなで地域を支えていることが分かりました。(子ども)



患者さんと接するときは、同じ目の高さになる、やさしく声をかける、いつも笑顔など、お医者さんや看護師さんは患者さんのことをとても考えていることが分かりました。(子ども)

医師や看護師、薬剤師も患者さんの家を訪問したり、地域で活動したりするという話を聞いてびっくりしました。(子ども)



お医者さんは「人の役に立ちたい」と思っているから大変でもやさしくしてくれるんだと思いました。(子ども)

脈拍を測ったり、聴診器で心臓の音を聴いたりなど、普段経験できないことができてよかったです。内臓の音はとても不思議な音でした。(子ども)



看護師さんの話を聞き、少し看護師という職業に興味を持つことができました。(子ども)

薬は正しく使えば薬だけれど、間違えると毒になります。使い方間違えないよう注意しようと改めて思いました。(子ども)



これをきっかけに土日に病院や医者のことを調べたりしました。(子ども)

介護は「やってあげる」ではなく、「寄り添う・手伝う」仕事で、本人が楽しく暮らせるように一緒に考える仕事なんだなと思いました。(子ども)

仕事の楽しさややりがいを知りながら、大人になることへの希望を持つことができたのではないかと思います。(先生)

リハビリの授業でスポーツや運動の大切さがわかりました。(子ども)

仕事の説明だけでなく、命を支えることについて、人とのコミュニケーションの大切さ、困っている人への支援のしかたなどについて講師のお話から学ぶことができました。(先生)